

指定校番号	28049	学級活動	児童会・生徒会活動	学校行事	○	別紙様式
-------	-------	------	-----------	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立阿品台西小学校	校長	市川 洋	生徒指導主事	大久保 真人
-----	--------------	----	------	--------	--------

取組事例名 『阿品台クリーン活動』

取組のねらい 『キーワード人間関係作りと自己有用感』

- ・ 数年後の中学校生活を踏まえ、他校種の児童生徒との人間関係づくりを図る。
- ・ 奉仕の心や自己有用感を育てる。
- ・ 自分たちが生活している地域に愛着を持たせる。

取組の具体的内容 『キーワード地域に愛着を』

事前指導

- ・ 小学生はクリーン活動のねらいと活動について知り、どのような気持ちで臨むかを考え、活動の準備をする。小学生の代表はあいさつの内容を考える。
- ・ 中学生は開会式・閉会式の進行、グループ活動の進行の仕方を学び、小学生とどのように活動していくかを考える。

クリーン活動

- ・ 小学校に集合し同じグループで顔合わせをする。簡単なオリエンテーションをしてお互いの顔と名前を覚える。
- ・ それぞれの掃除場所に移動して、中学生のリーダーシップのもとに清掃活動をする。

事後指導

- ・ 3つのねらいをもとに活動の振り返りをして、お互いの感想文や手紙などで交流する。

取組の課題・創意工夫 『キーワード中学生が主体となって』

創意工夫

・ 会の運営は中学生が主体的に行う。開・閉会式の司会進行は中学生がする。グループ活動では、中学生のリーダー、副リーダーがグループをまとめ、オリエンテーションをしたり清掃活動の指示をしたりする。中学生はグループでオリエンテーションをするときに、どのように自己紹介するとお互いのことが分かり合えるかを考えたり、清掃も中学生と小学生のペアやグループを作ったりと工夫した。



・ クリーン活動は1学期に1回、2学期に1

回あるが、最初は中学2年生と小学6年生が行い、2回目は中学1年生と小学5年生が行う。このペアは来年、再来年に中学1年生と3年生として同じ中学で生活することになる。しかし、今年度は1学期のクリーン活動が雨のために中止となり1回しかできていない。

取組の課題

・ 3校の児童が集まる機会を年に何度も設定するのが難しい。1回の活動も阿品台西小学校が少し離れたところにあるので、移動時間がかかりかかるため活動時間が正味1時間くらいしか取ることができない。

取組の成果（効果）『キーワード自己有用感』

・中学生が出身小学校に来て、後輩と一緒に掃除をしたり、掃除を教えたり、リーダーシップを発揮することで、自分の成長を感じ、自己有用感を高めている。活動後に後輩からありがとうのメッセージや手紙を受け取り、さらに自己有用感を高め、自信をつけている。

・中学2年生と小学6年生と一緒に活動する中で、入学後の部活勧誘の話をする中学生がいたり、誘われた小学生も中学での知り合いが一人増えて、入学後の安心感にもつながったりということが例年よく見られる。小学生からも中学校の疑問なども聞くことができている。



今後の展開『キーワード活動の広がり』

・中学生が主体となって、小学生と一緒にできる活動を工夫して、さらに広げていきたいと考えている。9月に中学3年生が出身小学校に出向き、掃除と一緒にして、掃除の仕方を教える出前掃除を実施した。オープンスクールでは、小学6年生に中学生が部活の体験をさせてくれている。2月の入学説明会では生徒会が中学校生活について話をしてくれる予定になっている。以前は授業の交流も実施したことがあるのでそのことも今後検討していきたい。

他校へのアドバイス『キーワード定例の活動にする』

・阿品台クリーン活動は阿品台3校が不登校対策指定校になってからずっと続けられている。10年間の積み重ねは大きく、毎年必ず行う行事として定着している。児童・生徒も行うことが当然と思っている。ここ数年は地域の方や保護者も参加し（今年度は10名）、活動の幅が広がっている。